

PHPのご利用について

現在ご利用中の Web サーバーでは以下のバージョンの PHP をご利用いただけます。

- PHP 5.3.6
- PHP 5.2.8

PHP を利用するには

重要

ご利用の前に以下の手順で必ず .htaccess ファイルを作成してください。設置場所は /html ディレクトリ以下であれば、任意の場所で結構です。

ウェブサイト全体で PHP を動作させたい場合には、/html ディレクトリ直下、特定のディレクトリで PHP を動作させたい場合には、該当ディレクトリ以下に設置してください。すでに .htaccess ファイルが存在する場合は②の記述を追記してください。

PHP は、.htaccess ファイルを設置し、PHP のバージョンを指定することで動作できます。

- ① メモ帳などのテキストエディタを起動します。
- ② 下記の記述(右側)を入力します。

PHP 5.2.8 の場合	AddHandler x-httpd-php528 .php
PHP 5.3.6 の場合	AddHandler x-httpd-php536 .php

- ③ 【htaccess.txt】という名称で保存します。

※ 本来の名称は .htaccess ですが、Windows では冒頭にドットのあるファイルを保存できないため、一度【htaccess.txt】という名称で保存します。

- ④ htaccess.txt をサーバーの任意のディレクトリにアップロードします。
- ⑤ アップロードしたら、名称を【htaccess.txt】から【.htaccess】に変更します。スペルミスなどで名称を間違えると動作しませんので、ご注意ください。
- ⑥ 実際にアクセスして動作検証を行います。

重要

■ パーミッションは、PHP ファイルの場合【604】もしくは【644】、PHP ファイルが含まれるディレクトリの場合は、【705】もしくは【755】に設定してください。
上記以外の場合は、500 エラー (Internal Server Error) となってしまいますのでご注意ください。

■ ご利用中の WEB サーバーでは .htaccess ファイルにて php_value および php_flag はご利用いただけません。記述が .htaccess ファイルにある場合、500 エラー (Internal Server Error) となってしまいますのでご注意ください。

■ ご提供しております PHP は、強固なセキュリティを持つように、サーバー仕様により独自にカスタマイズを加えたものです。このため、他社で動作する PHP が必ずしも同様に動作するとは限りません。ご注意下さい。

■ .htaccess ファイルは設置したディレクトリ以下全てに影響します。記述方法を間違えますとお客様のサイト全体に多大な影響を及ぼしますので、設置タイミング、動作検証など充分に行ってください。

■ 該当するディレクトリに .htaccess を設置している場合には、ファイルを上書きせずに既存の .htaccess ファイルに追記してください。上書きをしますと既存の設定内容が無効となりますのでご注意ください。

■ .htaccess ファイルの詳細については、検索エンジンや関連書籍を参照していただきますよう、あらかじめご了承ください。